みんなで考える新市民会館ワークショップ vol.2　かわら版

YAPPE!

vol.8 2018.08.02

発行　茂原市役所 企画政策課 政策推進室

市民会館 建ててみました。

平成30年8月2日(木)、茂原市役所において、第3回「みんなで考える新市民会館ワークショップ Vol.2」が開催された。この日集まった参加者は14名。

まず、事務局より7月末に開催した長野県茅野市民館視察のご報告。当日はワークショップ参加者9名の方にご参加いただき、ホールで移動客席を実際に動かしてみたり、市民参画組織の方にお話を伺ったりと、非常に充実した時間を過ごせた模様。

さて、今回のテーマは「新しい市民会館の施設配置図を考える！」。事務局が用意した施設構成案に基づき、各部門・諸室に見立てたブロック模型を現在の市民会館敷地に配置してみる、という試み。まずは大ホールの配置を設定し、その後、各諸室ブロックを動線等を意識しながら配置していく。

ユニークな発想を取り入れつつも、現実的な視点を忘れない各チーム。決められた範囲で、いかに理想的な施設とするか、皆、試行錯誤していた。

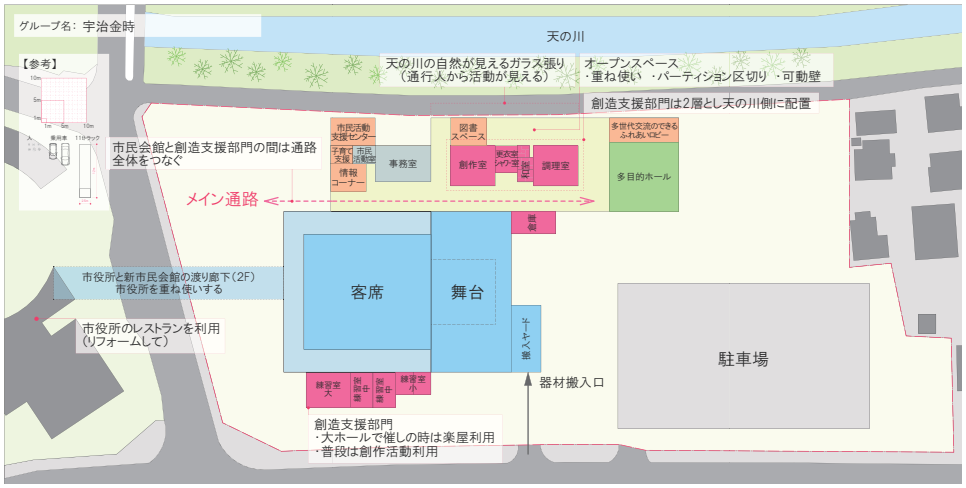
第3回テーマ
新しい市民会館の施設配置図を考える！
～市民会館を建ててみる～

のまとめ（抜粋）

事務局の考えた施設構成案

- 大ホール
  - 舞台・客席
  - 楽屋等 バックヤード
  - 搬入ヤード
- 多目的ホール
- 事務室
- 市民活動室
- 練習室 大×1 中×2 小×2
- 創作室
- 調理室
- 和室 6畳×2 4畳半×1
- 倉庫
- 更衣室/シャワー室
- 図書スペース
- 情報コーナー
- 子育て支援スペース

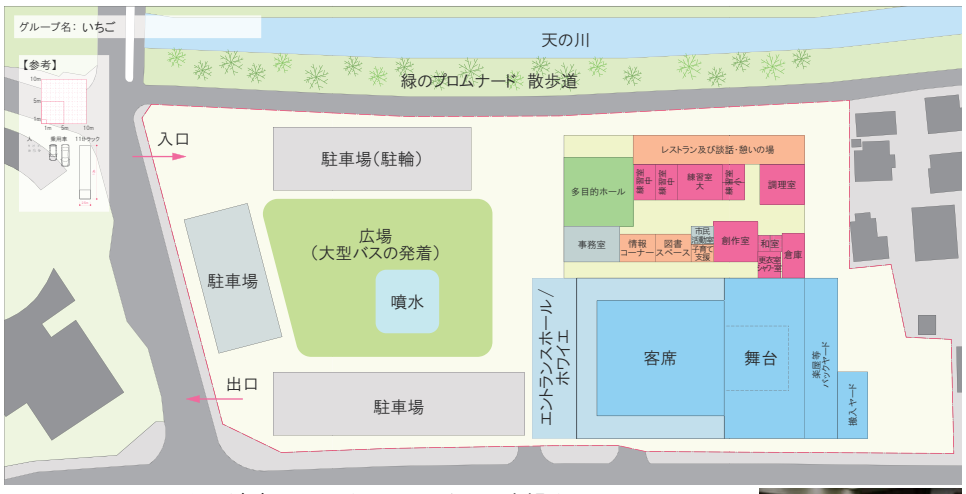
宇治金時チーム



- もったいない、重ね使いをキーワードとし、今あるスペースを有効に使っていく。
- 市民会館と市役所をつなぐコンコースを設置し、市役所で使える部分は重ね使いする。
- ホールの道路側に創造支援諸室を配置し、ホールを使うときは楽屋、使わないときは練習室として利用する。

まず宇治金時チーム。こちらのチームはなんと市役所と市民会館をつなげるという案。市役所の中で使えるスペースは重ね使いしてしまおうというアイディア。その他にも、練習室をホール横に配置して、ホール利用があるときは楽屋として、催し物がないときには創作活動の場として利用する、重ね使いも提案された。新しく作っていくだけでなく、今あるものも有効に使っていこうという思いが伝わる発表で、他のチームからは「これは思いつかなかったな～」といった声も。

いちごチーム

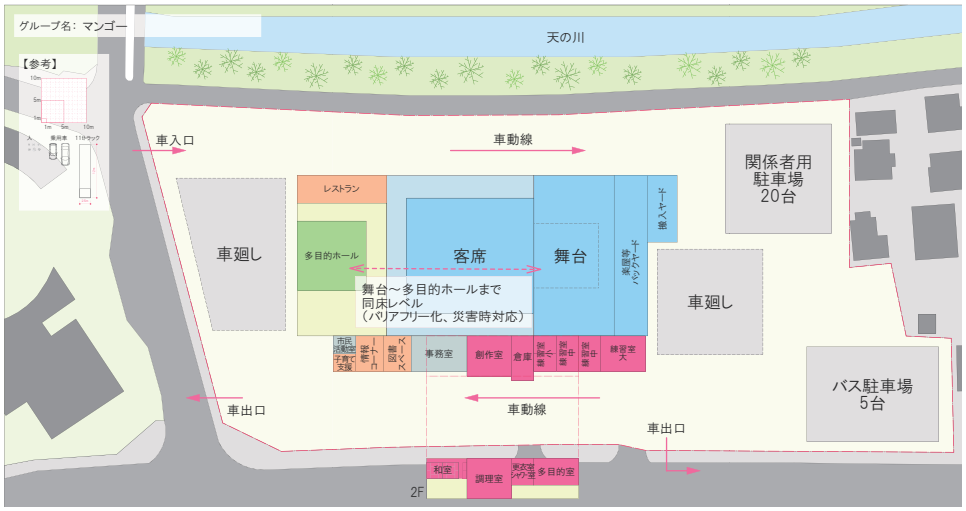


- ヨーロッパのような演奏ホールをイメージし、広場を設置。
  素材を工夫しヨーロッパ風の外観として、緑との調和を図る。
- 屋根は太陽光パネル（→写真）、天然ガスを利用するなど省エネな施設に。
- 天の川側は全面ガラス張りとして、借景を楽しめるようにする。

次にいちごチーム。こちらのチームはヨーロッパの演奏ホールをイメージした提案。施設前面を広場として、その中には豪華にも噴水を設置する。外観は素材を工夫してヨーロッパ風の、緑との調和を図るようなものに。川沿いの散歩道を眺められるようにガラス張りの憩いの場を配置。屋根は太陽光パネルとして、なんと形状まで検討していた。茂原ならではの天然ガスを利用して省エネを図るといった提案も。全体を通して、施設および周辺の景観にこだわった提案となった。

発行／茂原市役所 企画政策課 政策推進室　　編集／株式会社シアターワークショップ

マンゴーチーム



・建築面積および延床面積を抑えるため、コンパクトな配置を提案。
・多目的ホールを入口付近に配置し、大ホール客席・舞台と同じ床レベルでつなげる。
・駐車場は関係者用・バス用のみを設置し、市役所駐車場や周辺駐車場を利用することを想定。

次はマンゴーチーム。こちらのチームは市の状況を鑑みて、建築面積・延床面積を抑えることを第一に考え、コンパクトな配置を提案。駐車場も必要なものだけを設け、他は周辺の駐車場を利用してもらうことを想定している。視察に行った茅野市民館のように、大ホールの舞台・客席・多目的ホールまでを同じ床レベルとして、一体で使えるような空間を提案。客席も移動できるものとして、さまざまなイベントに対応できるようにしたいという声があがっていた。

ブルーハワイチーム

・前面に広場を設置し、市役所広場と一体化利用も可能な緑の多い空間をつくる。
・冬の七夕まつりの際など、川沿いの並木道が見えるようにレストラン･カフェはガラス張り。
・駐車場は関係者用・障がい者用など必要なものだけ設置。あとは周辺駐車場を利用する。
・多目的ホールは２層とし、音楽以外の活動にも使えるような空間とする。

最後はブルーハワイチーム。こちらのチームは施設の前面に大きな広場を設置し、市役所広場と一体的な利用もできる、緑豊かな空間を提案。駐車場はマンゴーチームと同様、必要なものだけを持ち、周辺駐車場を利用することを想定。ホール以外を川沿いにまとめ、冬の七夕まつり、桜の季節に楽しめるようレストラン・カフェはガラス張りの空間とすることを提案。創造支援部門は一部を２層とし、多目的ホールも音楽以外の利用を想定して、大きめに２層として提案。

専門的なテーマに、なかなか皆手が動かないのでは？という事務局の心配をよそに、どんどん模型を並べていく皆さん。回を重ねる毎に、自分の理想の市民会館をしっかり描いていたようです。

次回はなんと最終回。これまでは施設のハード面を考えてきましたが、最後は施設のソフト、運営面について考えます。

２ヶ年にわたり、皆で考えてきた新市民会館、どんな施設になるのか？乞うご期待！

速報!! 高校生WS（ワークショップ）開催しました

平成30年8月3日、『みんなで考える市民会館高校生ワークショップ』と題し、市内高校生を対象としたワークショップを開催しました。

テーマは「新しい市民会館の施設機能と配置を考える！」。本ワークショップテーマとは少し異なり、必要だと思う施設機能をブレインストーミングしつつ、配置も一緒に考えようというもの。

高校生ならではの意見から、本当に高校生？という意見まで、さまざまな案が出揃いました。

この模様はYAPPE!号外にてお伝えする予定ですので、お楽しみに！

次回のワークショップは…

9月6日（木）
19：00～21：00
茂原市役所 102 会議室
「運営を考える！」

なんでもアンケート（抜粋）

駐車場の問題は駅や茂原市の公共交通も考えること。集めやすい、参加しやすいは必須。市役所、市民会館をハブ交通的にする必要があると思う。

芽野への見学の効果が今日のプログラムに反映されてよかった。

４グループ様々な発想にこれらを統合すると素晴らしい市民会館になりそうで更にワクワクしてきました。

発想の個性に刺激を受けました。茂原のホールが魅力あふれる建物になるといいです。

年間、毎日、使っていただける「市民が行きたくなる所」を創りたいと思いました。

前回 vol.１での第五回でやった大発表会は開催しないのは残念です。できれば発表会があればと思います。

模型を使っての表現、立体的に考えられて新鮮でした。

ガス・冷房等、茂原といえば「天然ガス」を前面に出す必要がある。太陽光パネルをつけて維持費を安くすることも。

たくさんのご意見、ありがとうございました！

お問合せ
〒297 - 8511　茂原市道表１番地
茂原市役所 企画政策課 政策推進室
TEL : 0475 - 20 - 1516
FAX : 0475 - 20 - 1603
E-mail : kaikan@city.mobara.chiba.jp

発行／茂原市役所 企画政策課 政策推進室　　編集／株式会社シアターワークショップ